

花 育 情 報

☆花や緑に関する情報をお届けします。

<6月のお花> ユリ



ユリ科 ユリ属
学 名・・・Lilium
英 名・・・Lily
開花期・・・5月～8月
原産地・・・北半球
花言葉・・・「純潔」「無垢」「威厳」
ユリの自生種は世界に100種ほどあり、
そのうち15種ほどが日本に自生しています。

新潟はユリ的一大産地！！

新潟県はユリの切花作付面積全国第1位です。1年を通じて約720万本、170種類のオリエンタルユリを出荷しています。新潟県内最大の産地は魚沼市(旧堀之内)で田川平と呼ばれる台地を中心とした露地ユリ切花栽培が盛んで、県内出荷量の6～7割を占めています。他には新潟市、南魚沼市、十日町、津南町で施設栽培が盛んに行われています。新潟市は南区(白根地区・味方地区)、東区(竹尾・大形・石山地区)、江南区(大江山地区)、秋葉区(新津地区・小須戸地区)で栽培が行われています。これからユリの最盛期がやってきます、華やかなユリの姿と香りに癒されて下さい。

佐渡のカンゾウはキスゲの仲間!?

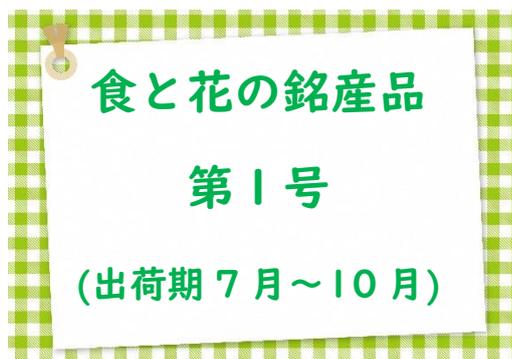
山形県の飛島と酒田海岸、そして佐渡にしか自生していない花があります。それが「トビシマカンゾウ」※佐渡では八重咲のカンゾウもあるため「カンゾウ」として登録しているこのカンゾウ、実はユリ属ではなく、キスゲの仲間だそうです。(キスゲ属)佐渡のカンゾウは5月下旬～6月上旬になると外海府・大野亀周辺が約50万株100万本のカンゾウの鮮やかな黄色に埋め尽くされます。昔は佐渡牛の放牧が行われ雑草が抑えられていたためもっと多くの花を咲かせていたそうですが、一時期は30万株まで減る危機に。しかし、地元のみなさんや観光協会が中心となり保護増殖運動を行い、今の状態まで復活をしました。初夏を告げる佐渡のカンゾウ、一度は生で見たいものです。



ニッコウキスゲ

新潟市で生まれたユリ

“ホワイト阿賀”



「ホワイト^{あが}阿賀」というユリを知っていますか？

このユリは新潟市江南区、旧大江山農協(現新潟市農協)が品種改良を重ねて作りあげた新鉄砲ユリなのです。大輪の花を咲かせ、濃緑色でツヤのある葉が特徴で、その清楚で優雅な姿は

「阿賀に咲く、白の貴婦人」と言われています。

連作障害が起きやすく期間をあけないと同じ畑で栽培できないところが大変ですが、球根の力が強いので多品種よりも一回り小さい球根でも花付きがよく病気にも強いところも魅力です。

近年はホワイト阿賀の栽培農家も減り年間の出荷量は減少していますが、東京や大阪の市場へも送られており、新潟市を代表するユリです。

花育情報

検索

花育情報のバックナンバーは新潟市ホームページへ



<発行・問合せ> 新潟市農林水産部 食と花の推進課 食育・花育担当

〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地 Tel:025-226-1792 Fax:025-226-0021

E-mail: shokuhana@city.niigata.lg.jp

【花育情報 no6 2020年6月発行】